

ID	患者様名		病名	☐ 鼠径ヘルニア ☐	特別な栄養管理の必要性	☒ 無 ☐ 有		★退院指導★	
看護師	薬剤師	栄養士	症状	☐ 特になし ☐	リハビリ計画	☒ 無 ☐ 有			外来診察担当医
			治療日		時	総合的な機能評価	問題なし		()
日付									外来受診日
経過	手術前		手術後					年 月 日	
目標	不安を家族や医療者に伝えることができる		痛みや出血の増強がなく退院できる					時 分	
点滴	ありません		手術室から点滴が入ってきます 抗生剤の点滴は手術中に実施します 水分が飲めて排尿が確認できれば点滴の針を抜きます						
内服	内服している薬がある場合は 朝6時まで内服してください		普段内服している薬がある場合は 水分が取れるようになれば指示どおり内服してください						検査 内容 予定日 ()
検査			ありません						年 月 日 時 分
処置	手術前に検温があります		適宜検温があります 傷やお腹の動きを観察します 出血などでガーゼが汚れている場合は交換します					退院時の お薬 有・無	
活動	制限はありません		手術後1時間はベッドから下りることはできません 寝返りや座ることは可能です					★退院後の留意点★	
食事	手術当日の朝6時以降は絶飲食です		手術後3時間で飲水ができます(初回の水分摂取は看護師の見守りのもとで行います) 飲水できればその1時間後に半固形の食事(プリン・ゼリー)が食べられます(自己で準備をお願いします) <u>※必ず食べないといけないものではありません</u>					①次回外来まで入浴は避け シャワーだけにしてください	
清潔	ご自宅で入浴を済ませてきてください		シャワーのみ可能です					②傷を保護するテープが はずれたら、消毒後市販の 傷用防水テープを貼ってください	
排泄	手術前にトイレをすませてください オムツの場合は交換してください		手術後ベット上の排泄になるため看護師がお手伝いします 手術後1時間後からトイレ歩行が可能です(初回歩行は看護師が付き添います) オムツの場合は排尿があれば看護師に知らせてください					★次の症状に注意★	
指導	わからないことや不安なことがあれば 看護師にお尋ねください		痛みが強い時やガーゼ汚染がある時、不明点がある場合は ナースコールでお知らせください お腹の傷をぶつけないようにしてください 退院後は食事の制限はありません					①傷から出血しているとき ②我慢できないほどの腹痛 があるとき ③38℃以上の発熱が続くとき	
説明	外来でお渡しした同意書類を忘れずお持ちください		手術後主治医の診察・説明があります 診察後活動や食事に問題がなければ退院の手続きをして退院となります 精算の説明は病室に事務員が説明にうかがいます					上記症状があれば下記に 連絡し相談してください	

※上記内容は現時点で考えられるものであり、今後変わり得る場合があります。

りんくう総合医療センター 6海病棟 作成：2016.10 改訂：2025.10

説明日： 20 年 月 日

主治医(説明医):

Ⓜ (署名もしくは捺印)

完成後はコピーを1部取り、病棟用ファイルに入れ、原本を患者様にお渡し下さい。

本人/家族等:

続柄: